

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	兵庫県	事業実施主体	兵庫県、西脇市 多可町、神河町	地域再生計画名	兵庫県、西脇市、多可町、神河町「水・緑・人がともに生きるまちづくり計画」
計画期間	平成27年度～令和元年度(令和3年度)	評価責任者	兵庫県農政環境部農林水産局治山課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標	基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価
		基準年度	H26	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標 総数		達成 数		
	指標1	国道427号豊都市内の人身事故件数	5件	H26	5件	H29	6件	0件	R3	0件	○	多可町道豊都35号線の開通により、目標が達成できた。
		多可町道中野間光竜寺中池線、大屋中の谷線及び靴屋中村町中央線の狭隘箇所数	3箇所	H26	1箇所	H29	1箇所	0箇所	R3	0箇所	○	
	指標2	滞在型市民農園（ブライベンオヤ）の利用戸数	18/20戸	H26	18/20戸	H29	15/20戸	20/20戸	R3	20/20戸	○	多可町道大屋中の谷線の開通により、目標が達成できた。
		交流拠点（エーデルささゆり、ネイチャーパークかさかた等）の利用者数	3.8万人	H26	4.4万人	H29	5.8万人	4.6万人	R3	4.6万人	○	
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1										4	4
	指標2											

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度（H・R）	最終実績	
特別措置を適用して行う事業					
その他の事業	オーブンガーデン（多可町）				住民が工夫や趣向を凝らした個人宅の庭や自然スペース等を公開し、観光交流協会主催のオーブンガーデンバスツアー（有料）もあり、遠方からの参加者や問い合わせも多い。毎年4月末から5月にかけ、住民自慢の手作りの庭が無料で公開される。
	地域特性進展事業（多可町）	都市農村交流を促進するソフト事業の推進			関係団体が古墳まつりやホテル観賞会など多可町の地域特性や地域資源を広く情報発信し、町の知名度及びイメージの向上、交流人口の増加に寄与する事業を行っている。
	滞在型市民農園の整備（多可町）				全国でも先駆的に滞在型市民農園「フロイデン八千代(やちよ)」などを整備。契約者は、バンガロー風のコテージと農作業を行える小さな畑で、自分の好きなときに宿泊して農作業を行うことができる。また、地元住民たちとの催し物も2回程度に開かれるなど、農村と都市住民の交流が図られている。
	多可の里・むらづくり活動事業（多可町）				むらを快適で暮らしやすく活力あるものにするため、まちの将来や集落の将来、そして次世代に引き継ぎ残せるものは何かなど、地域の資源（人・物）をみんなで見つけだし、そこに生活する人たちが自発的に、共同して、課題をみんなで出し合い、その課題解決に向けて守り育てる継続的な取組を実施している。
	多可町観光交流協会（多可町）				阪神間から1時間半の利便性を活かし、地域住民が主体となり「地学地創」「美・感・遊・創」をまちづくりのキーワードに掲げ、「こころ癒せる」多自然居住の農村と都市住民の交流拠点を目指し、多可町に関する様々な観光情報やイベント情報をご提供している。
	多可町地域協議会（多可町）				旧町の地域特性を残しながら、3つの区（中区、加美区、八千代区）が融合したまちづくりを進めていくため、旧町単位で地域協議会を設立。特に加美(かみ)地域協議会は、各集落へ訪問し地域の課題や特性を発見する地域調査「加美区みんなのまちづくり計画」を策定し、地域協議会の活動としては全国に類を見ない実績を残している。
	加美ふるさと塾（多可町）	地域住民による地域資源の再評価と町づくりの推進			加美(かみ)区が日本の和紙のルーツともいわれる「杉原紙(すぎはらがみ)」発祥の地であることから、和紙の原料である楮(こうぞ)を各家庭で育てる「一戸一株運動」を提唱、実践し、和紙の里づくりを目指している。
	市原(いちばら)・孝行の里づくり（多可町）				「孝子節婦」3人の内1人に選ばれた故森安小春さんの精神と徳を伝えようと、「ちょっと照れくさい孝行のメッセージ」を全国公募。国内外から2千通以上の応募があり、入選作品を集めた単行本も出版している。
	箸荷(はせがい)村芝居の復活（多可町）				全国でも珍しい現役消防員による劇団「箸消興業」を結成し、代表的なイベントとして「箸荷秋まつり余興大会」や「箸荷紅茶祭り」などがあり、全国的に同趣旨のむらづくりを行っている地域と協同した「全国紅茶サミット」、「全国村芝居サミット」を行うなど情報をも全国にも発信している。
	蛍の宿の会（多可町）				河川への不法投棄により、蛍の個体数が減少しつつあった八千代区俵田地区において、本流野間川の河川清掃及び蛍の放流等を行い幻想的なホテルの乱舞が見られる絶好のスポットとして定着させた。毎年6月に実施する「俵田ほたる鑑賞会」は、夕方から出店やステージイベントにより、多くの来場者で賑わっている。
計画外で独自に実施した事業	北はりま定住自立圏共生ビジョン（西脇市、多可町）	北はりま定住自立圏構想			生活圏を一にする創造することを目的とする。西脇市と多可町が自治体の枠組みを越えて相互に役割分担して定住に必要な生活機能を確保し、圏域の住民がより快適に暮らすことのできる地域を「集約とネットワーク」の考え方にに基づき、圏域全体の活性化を図ろうとしている。
	森林環境保全整備事業（西脇市、多可町、神河町）	森林資源を活用した林業の振興			森林の多目的機能を積極的に発揮しつつ、林業の成長産業化を実現していくためには、健全な森林を育成し、資源の循環利用を進めていく必要があり、森林施業の集約化や路網整備を通して施業の低コスト化を図りつつ、計画的に間伐や主伐後の再造林等の森林整備を進めることが重要です。このような多様な森林に対応した整備を推進していくため、「森林整備事業」を実施している。

④評価方法	
⑤事後評価の公表方法	
⑥計画全体の総合評価	
⑦今後の方針等	